

事業所名 放課後等 ヨシア(スカイブルー午後ハイジ)

公表:令和 6年 3 月 29 日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点 を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広くゆったり使えるスペースがあります。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			基準配置上の職員が入っています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			一面フラットで安全に移動しやすいです。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善委員会などを通して、PDCAサイクルを意識して業務を行っています。	必要に応じて業務改善を行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートでの保護者の意見把握に努め業務改善に取り組んでいます。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部からのコンサルテーションを受け業務改善に努めています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内での年数、階層別、朝研修など学ぶ機会が充実しています。	積極的に研修に参加していきます。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談でのアセスメントを必ず行い、ニーズを反映させた個別支援計画作成を行っています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人で共通のアセスメントツールを使用しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス職員全体で話し合い、上司へのセットアップを行い立案しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や長期休みなどに合わせて、活動プログラムを作成しています。	子ども達の興味関心に合わせて活動のバリエーションを増やしていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日や長期休暇など、分けてスケジュールを設定をしています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況や発達に合わせて、活動や個別支援計画を作成しています。	
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			クラス会議を行い情報共有し支援を行っています。		

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			クラス会議やケースカンファレンスを通して振り返りを行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			勤務時間の中に記録をとる時間を作り、検証改善に繋げています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングをして計画の見直しなどの判断を行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインの総則に合わせて支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの事を理解している職員が参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校に法人から支援職員を配置し、放デイと学校間での情報共有や連絡調整を行えるようにしています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			地域支援の職員が情報共有や連携をしています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内にセンターがあるので、連携して、助言や研修を受けています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			公園で近所の子ども達と会った時に一緒に遊ぶなど交流しています。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人の代表が積極的に参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話などで普段から様子や状況を伝えあい、情報を共有しています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			CSPを用いて、ペアレント・トレーニングをしています。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、また変更があれば都度行っています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			24時間、365日、相談できる緊急携帯や、普段から保護者と話す機会、面談を行っています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			むぎのこパパの会、保護者主催のフリースクールなど、連携や連絡をとっています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情処理委員会が法人内にあり、苦情対応は1番の優先解決事項として、取り組んでいます。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報、クラスだより、ホームページなどを作り、行事や活動などの予定を情報発信に努めています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の載っている書類などは、鍵のかかる保管庫にれています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あらゆるコミュニケーション媒体(実際の会話、電話、メールなど)でやり取りしています。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ感染予防のために交流はなかったです。コロナ前は年2、3回のバザーを行っていました。	今後は検討していきたいです。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			面談などで周知をしています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難訓練を行い、年1回は大避難訓練で近くの小学校まで避難する練習をしています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の虐待防止員会で研修や啓発活動を行っています。また、週1回アンガーマネジメントで落ち着く練習、イライラした時に、他の職員に任せて、離れ、落ち着く行動をする練習をしています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画作成の際に、保護者に周知し、説明、同意を受けています。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず、医師の指示書を提出してもらい、それに沿った対応をしています。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人でヒヤリハットを集め、そのことで委員会が開かれ、同じことが起きないように取り組んでいます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。